

# 国内旅客輸送

2010年の日本の1人当たりの年間の国内平均移動距離(年間移動距離)は、約10641kmで、交通機関の内訳は乗用車が59%、鉄道が29%、バスが6%、船舶が0.2%、飛行機が5%となっています(EDMC 2010)。本シミュレーションでは、4つのレベルを設定しました(図1)。詳しい設定に関してはエクセル・スプレッドシートモデルを参照してください(Zhou, et al. 2014)。

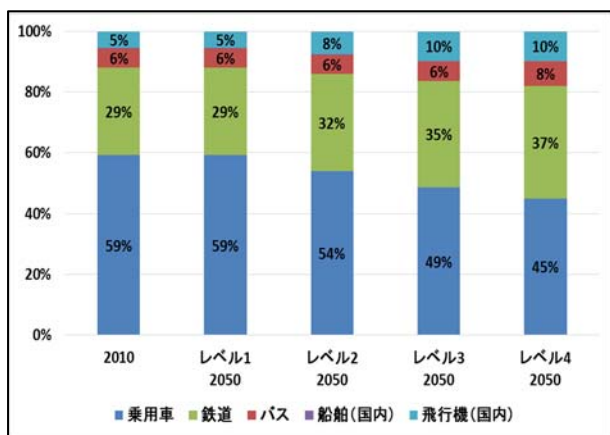


図1：交通モードの割合

レベル	内容
1	2050年には1人当たりの年間移動距離が2010年よりも1766km長くなる。交通機関の内訳は2010年と同じ。
2	2050年には1人当たりの年間移動距離が2010年よりも883km長くなる。交通機関の内訳は、乗用車が54%、鉄道が32%、バスが6%、船舶が0.1%、飛行機が8%となる。
3	2050年の1人当たりの年間移動距離は2010年と同じだが、交通機関の内訳は、乗用車が49%、鉄道が35%、バスが6%、船舶が0.1%、飛行機が10%へと大きくシフトしている。
4	2050年には1人当たりの年間移動距離が2010年よりも317km短くなる。乗用車から公共バスへの大きなシフトが見られ、交通機関の内訳は、乗用車が45%、鉄道が37%、バスが8%、船舶が0.1%、飛行機が10%となる。

※ 先導的の低炭素技術は、環境省 L2-Tech リストの「C-03 電動二輪車」、「C-04 鉄道」、「C-05 船舶」、「C-06 航空機」と「E-04-002 燃料電池」を参照(環境省 2014、2015)。

## 参考文献

Energy Data and Modelling Center (EDMC) (2010) Handbook of Energy & Economic Statistics in Japan 2010. Institute of Energy Economics, Japan.

Zhou, X., Ashina, S., Kuramochi, T., Moinuddin, M., Wakiyama, T., and Kuriyama, A. (2014) Japan 2050 Low Carbon Navigator (Excel Model).

IGES/NIES. <http://www.2050-low-carbon-navi.jp/web/en/index.html>

環境省(2014) 平成 26 年度版 L2-Tech リスト(素案)の公表について(お知らせ)。

<https://www.env.go.jp/press/18927.html>

環境省(2015)「L2-Tech2015 年度夏 認証製品リスト」の公表について。

<https://www.env.go.jp/press/101557.html>